

財務報告書 2015

平成 26 事業年度

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日



北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

1. 財務概要	…P1
2. 平成26事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P9
4. 財務指標（年度間比較）	…P18
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P21
(2) 損益計算書	…P24

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は平成26年度末における財務状態を表したものです。
 「資産」は前年度比2億円減少の487億円、「負債」は前年度比4億円増加の121億円、また
 「純資産」は前年度比6億円減少の366億円となっています。

貸借対照表

【平成27年3月31日】

(単位：億円)

区分	25年度	26年度	増減
資産の部	489	487	▲ 2
【固定資産】	411	400	▲ 11
土地	115	115	0
① 建物等	226	219	▲ 7
② 備品	54	49	▲ 5
図書	8	8	0
その他固定資産	7	8	1
【流動資産】	78	87	9
③ 現金・預金	27	37	10
有価証券	2	0	▲ 2
④ その他流動資産	48	50	2
資産合計	489	487	▲ 2

区分	25年度	26年度	増減
負債の部	117	121	4
⑤ 資産見返負債	26	26	0
借入金	13	13	0
⑥ 未払金	39	45	6
⑦ 寄附金債務	11	8	▲ 3
その他負債	28	29	1
純資産の部	372	366	▲ 6
資本金	346	346	0
資本剰余金	▲ 12	▲ 19	▲ 7
⑧ 利益剰余金	38	39	1
負債・純資産合計	489	487	▲ 2

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①建物等：219億円（7億円減少）

・建物等219億円は、建物等の取得価格294億円から減価償却累計額75億円を控除した額です。

②備品：49億円（5億円減少）

・備品49億円は、備品の取得価格162億円から減価償却累計額113億円を控除した額です。

③現金・預金：37億円（10億円増加）

・現金・預金は37億円で、昨年度より10億円の増となっています。

④その他流動資産：50億円（2億円増加）

・主なものとして未収附属病院収入45億円、医薬品及び診療材料4億円となっています。

負債の部

⑤資産見返負債：26億円（昨年度同額）

・資産見返負債は26億円で、昨年度と同額となっています。

⑥未払金：45億円（6億円増加）

・未払金45億円の内訳は、職員退職金7億円、1年以内支払分リース債務7億円及び4月以降に支払う物件費等です。

⑦寄附金債務：8億円（3億円減少）

・奨学貸付制度の創設に伴い、一部を基金化（その他負債へ振替）したため、減少しております。

純資産の部

⑧利益剰余金：39億円（1億円増加）

・前中期目標期間繰越積立金36億円、目的積立金2億円、平成26年度当期未処分利益1億円の計39億円となっています。

費用・収益の状況

「損益計算書」は平成26年度の運営状況（経営成績）を表したものです。

「経常費用」は前年度比9億円増加の319億円、「経常収益」は前年度比9億円増加の320億円です。
この差額に臨時損益及び目的（繰越）積立金取崩を加えた当期総利益は、前年度比1億円減少の1億円となっています。

損益計算書

【平成26年4月1日～平成27年3月31日】

（単位：億円）

区分	25年度	26年度	増減
① 教育・研究等経費	23	22	▲ 1
② 診療経費	132	138	6
受託研究・事業費	3	3	0
③ 人件費	147	150	3
一般管理費	5	5	0
財務費用	1	1	0
経常費用	310	319	9
臨時損失	0	0	0
当期総利益	2	1	▲ 1
計	312	320	8

区分	25年度	26年度	増減
④ 運営費交付金収益	56	59	3
⑤ 附属病院収益	225	233	8
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	9	9	0
⑥ 補助金収益	6	5	▲ 1
その他収益	7	6	▲ 1
経常収益	311	320	9
臨時利益	0	0	0
目的（繰越）積立金取崩	1	0	▲ 1
計	312	320	8

注）各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

①教育・研究等経費：22億円（1億円減少）

・施設関連経費の減少による費用の減

②診療経費：138億円（6億円増加）

・診療収益増に伴う医薬材料費等の増

③人件費：150億円（3億円増加）

・給与増改定や人員増に伴う増

経常収益

④運営費交付金収益：59億円（3億円増加）

・給与増改定等に伴う収益化額の増

⑤附属病院収益：233億円（8億円増加）

・診療単価等の上昇に伴う診療収入の増

⑥補助金収益：5億円（1億円減少）

・補助事業の終了に伴う収益化額の減

○平成26事業年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	39,953
1	有形固定資産	39,232
	土地	11,544
	建物	21,281
	構築物	649
	工具器具備品	4,901
	図書	834
	その他	23
2	無形固定資産	131
	特許権	21
	ソフトウェア	62
	その他	48
3	投資その他の資産	590
	投資有価証券	0
	未収財源措置予定額	573
	その他	17
II	流動資産	8,763
	現金及び預金	3,652
	未収学生納付金収入	0
	未収附属病院収入	4,459
	有価証券	150
	医薬品及び診療材料	409
	たな卸資産	6
	未収入金	83
	その他	4
	資産合計	48,716
運用状況		

負債の部		
I	固定負債	5,160
	資産見返負債	2,563 ※1)
	長期寄附金債務	416
	長期借入金	1,300
	引当金	2
	長期未払金	698
	資産除去債務	181
II	流動負債	6,984
	運営費交付金債務	697
	寄附金債務	776 ※2)
	前受受託研究費等	300
	1年以内返済長期借入金	520
	未払金	4,506 ※3)
	その他	185
	負債合計	12,144

純資産の部		
I	資本金	34,585 ※4)
II	資本剰余金	▲ 1,897 ※5)
III	利益剰余金	3,884
	前中期目標期間繰越積立金	3,595 ※6)
	目的積立金	136 ※7)
	積立金	0 ※8)
	当期末処理利益	153
	純資産合計	36,572
	負債・純資産合計	48,716
調達源泉		

【流動資産】
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

【純資産】
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 前中期目標期間繰越積立金～前中期目標期間から繰り越しが認められた剰余金です。
- ※7) 目的積立金～自己収入の獲得増や効率の運営により生じた剰余金です。
- ※8) 積立金～経営努力によらない剰余金であり、翌期以降の損失の補填に充当します。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

費用	経常費用	31,860
	業務費	31,387
	教育経費	477
	研究経費	1,333
	診療経費	13,751
	教育研究支援経費	431 ※1)
	受託研究費	212
	受託事業費	104
	人件費	15,079
	一般管理費	464
財務費用	9 ※2)	

【業務費】

- ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
- ・「受託研究費」「受託事業費」は、受託研究等に係る人件費を含む

収益	経常収益	32,014
	運営費交付金収益	5,873
	授業料等収益	834
	附属病院収益	23,251
	受託研究等収益	233
	受託事業等収益	113
	寄附金収益	591
	施設費収益	33
	補助金収益	473
	資産見返負債戻入	344 ※3)
	財務収益	1
	雑益	268

【経常収益】

- ・「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額
- ・「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

経常利益	154
-------------	-----

臨時損失	3
臨時利益	0

【臨時損失】

- ・臨時損失は、固定資産の除却を計上

当期純利益	151
--------------	-----

前中期目標期間繰越積立金取崩額	0
目的積立金取崩額	2 ※4)

当期総利益	153
--------------	-----

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息

(償還利率 ①0.85%、②0.90%、③0.55%、④0.35%、⑤0.45%、⑥0.35%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

※4) 目的積立金取崩額～目的積立金を財源とした費用相当額を計上します。平成26年度においては、施設の修繕や研究機器の購入に充当しています。

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

		(単位：百万円)	
I	業務活動によるキャッシュフロー	2,005	<p>【業務活動】 教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの</p> <p>業務活動による資金調達 20億円</p>
	原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 14,121	
	人件費	▲ 15,288	
	その他の業務支出	▲ 478	
	運営費交付金収入	6,208	
	授業料収入	689	
	入学金収入	80	
	検定料収入	15	
	附属病院収入	23,096	
	受託研究等収入	236	
	受託事業等収入	71	
	補助金等収入	641	
	補助金等の精算による返還金の支出	▲ 7	
	寄附金収入	543	
	預り科学研究費補助金等増減	▲ 1	
	その他収入	321	
	設立団体納付金の支払額	0	
II	投資活動によるキャッシュフロー	▲ 329	<p>【投資活動】 固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの</p> <p>投資活動への資金利用 ▲3億円</p>
	有価証券の取得による支出	▲ 950	
	有価証券の償還による収入	1,000	
	有形固定資産の取得による支出	▲ 911	
	無形固定資産の取得による支出	▲ 16	
	定期の預入による支出	▲ 2,000	
	定期の払出による収入	2,000	
	施設費による収入	547	
	利息及び配当金の受領額	1	
III	財務活動によるキャッシュフロー	▲ 737	<p>【財務活動】 借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの</p> <p>財務活動への資金利用 ▲7億円</p>
	長期借入れによる収入	520	
	長期借入金返済による支出	▲ 520	
	ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 728	
	利息の支払額	▲ 9	
IV	資金に係る換算差額	0	
V	資金増加額 (I + II + III + IV)	939	<p>平成26年度キャッシュ増加額 10億円</p>
VI	資金期首残高	2,713	
VII	資金期末残高 (V + VI)	3,652	

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務費用	6,640
(1) 損益計算書上の費用	31,863
業務費	31,387
一般管理費	464
財務費用	9
臨時損失	3
(2) (控除) 自己収入等	▲ 25,223
授業料収益・入学金収益・検定料収益	▲ 834
附属病院収益	▲ 23,251
受託研究等収益	▲ 233
受託事業等収益	▲ 113
寄附金収益	▲ 591
資産見返運営費交付金等戻入	0
資産見返寄附金戻入	▲ 64
財務収益	▲ 1
雑益	▲ 136
臨時利益	0
II 損益外減価償却相当額	1,189
III 損益外減損損失相当額	67
IV 損益外利息費用相当額	4
V 損益外除売却差額相当額	64
VI 引当外賞与増加見積額	27
VII 引当外退職給付増加見積額	332
VI 機会費用	241
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	112 ※1)
・地方公共団体出資の機会費用	129 ※2)
VII (控除) 設立団体納付金	0
VIII 行政サービス実施コスト	8,564

道からの財源で賄われているコスト

・損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの

(1) 損益計算書の費用：319億円

(2) (控除) 自己収入等：252億円

業務費用：67億円

損益計算書に計上されていないコスト：17億円

・道から出資された資産等の減価償却や、一部の退職手当等、制度上費用に反映されない負担相当額

免除もしくは軽減されているコスト：2億円

・道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額

行政サービス実施コスト：86億円

※1) 道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法：
近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2) 地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率：
平成27年3月31日における10年国債の利回りを参考に0.400%で計算しています。

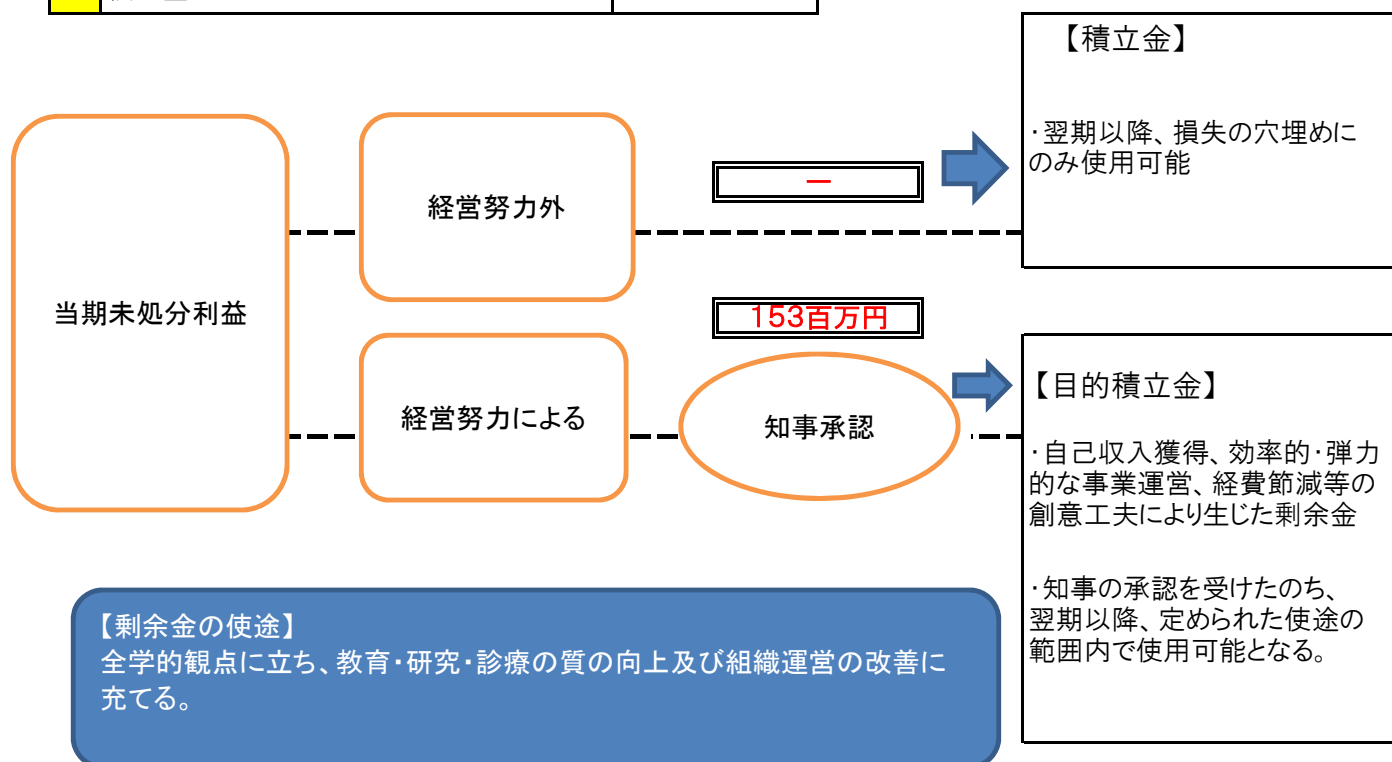
利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 当期末処分利益	153
当期総利益	153

II 利益処分類	153
目的積立金	153
積立金	-



※ 公立大学法人には、株主のような営利目的の資本主が存在しませんので、利益を資本に配分することはありません。

そのため、獲得した利益のうち、運営努力(経営努力)から生じた利益については、北海道知事の承認を受けた後、次年度以降に中期計画の「剰余金の使途」に従って使用することが認められています。

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	33,131	35,091	1,960	
運営費交付金	6,521	6,622	101	※1)
施設整備費補助金	581	573	▲ 8	※2)
自己収入	24,429	25,017	588	
授業料及び入学検定料収入	870	834	▲ 36	※3)
附属病院収入	22,731	23,251	520	※4)
雑収入	828	932	104	※5)
受託研究等収入及び寄附金収入等	1,080	2,288	1,208	※6)
長期借入金収入	520	520	0	
目的積立金取崩収入	0	71	71	※7)
支出	33,131	32,750	▲ 381	
業務費	30,653	30,370	▲ 283	
教育研究経費	1,729	1,806	77	※8)
診療経費	12,295	13,028	733	※9)
人件費	16,102	15,079	▲ 1,023	※10)
一般管理費	527	457	▲ 70	※11)
施設整備費	1,101	1,093	▲ 8	※12)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	847	758	▲ 89	※13)
長期借入金償還金	530	529	▲ 1	
収入－支出	0	2,341	2,341	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 北海道との協議により運営費交付金の一部を増額したため、予算額に比して決算額が101百万円増加しました。
- ※2) 入札結果に基づく契約確定額の減により、予算額に比して決算額が8百万円減少しました。
- ※3) 休学者の増に伴う授業料の減等により、予算額に比して決算額が36百万円減少しました。
- ※4) 入院・外来診療単価の上昇等により、予算額に比して決算額が520百万円増加しました。
- ※5) 文部科学省補助金（研究開発施設共用等促進費補助金）に係る収入増等により、予算額に比して決算額が104百万円増加しました。
- ※6) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことに加え、前年度からの繰越等1,124百万円があったことにより、予算額に比して決算額が1,208百万円増加しました。
- ※7) 予算計上していなかった、目的積立金を取り崩したことにより決算額が71百万円増加しました。
- ※8) ※5) に示した理由により、予算額に比して決算額が77百万円増加しました。
- ※9) ※4) に示した理由により、予算額に比して決算額が733百万円増加しました。
- ※10) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が1,023百万円減少しました。
- ※11) ※7) で示した理由により、予算額に比して決算額が70百万円減少しました。
- ※12) ※2) に示した理由により、予算額に比して決算額が8百万円減少しました。
- ※13) 寄附金事業費等の減により、予算額に比して決算額が89百万円減少しました。

○過去6年間の推移

財務情報一覧

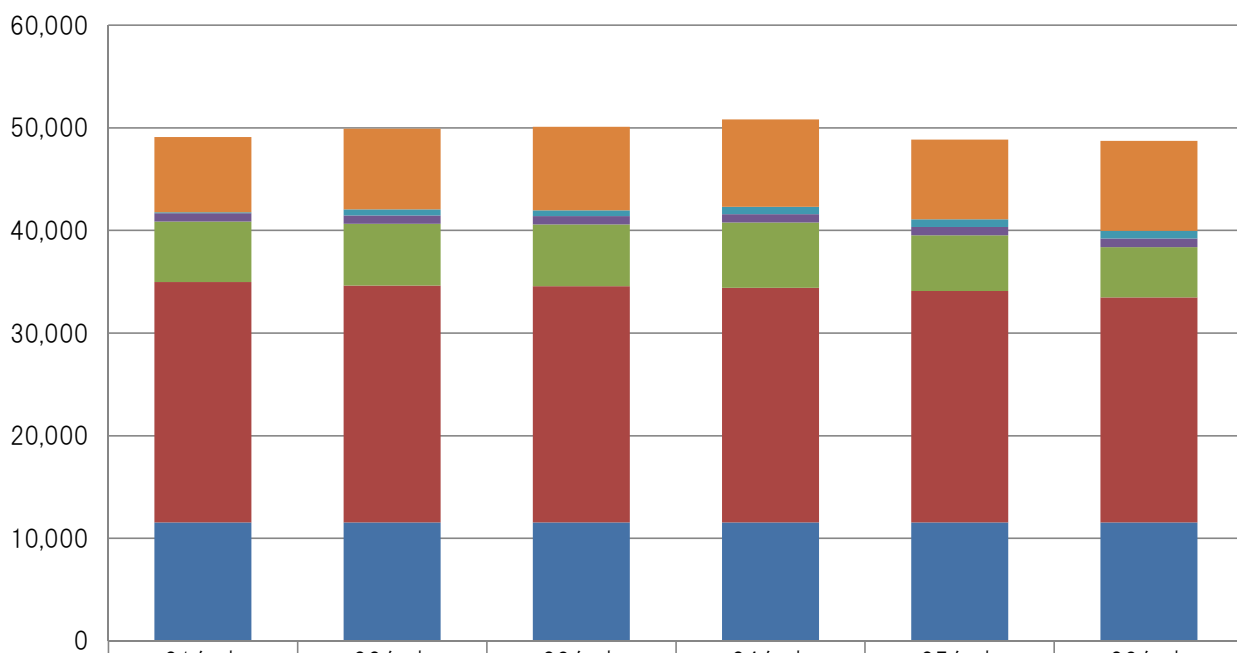
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	491	499	501	508	489	487	P10 ～ P11
		うち固定資産	418	420	420	423	411	400	
		負債	124	125	125	122	117	121	
		うち借入金	12	13	13	13	13	13	
		純資産	367	374	376	386	372	366	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	289	290	296	299	310	319	P12 ～ P13
		うち人件費	146	144	145	145	147	150	
		経常収益	292	300	303	308	311	320	
		うち運営費交付金	69	63	61	60	56	59	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	3	10	9	17	2	1	P14
		目的積立金	2	4	6	-	2	1	
		積立金	1	6	2	17	-	-	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	208	210	215	218	228	236	P15
		業務収益	206	217	220	225	230	236	
		業務利益	▲2	7	5	7	1	0	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	17	21	24	14	20	20	P16
		投資活動	▲6	▲5	▲16	▲8	▲22	▲3	
		財務活動	▲2	▲4	▲6	▲7	▲7	▲7	
		資金期末残高	23	36	38	36	27	37	
業務実施 コスト	本学への 住民負担	実施コスト	104	87	82	78	84	86	P17

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資産

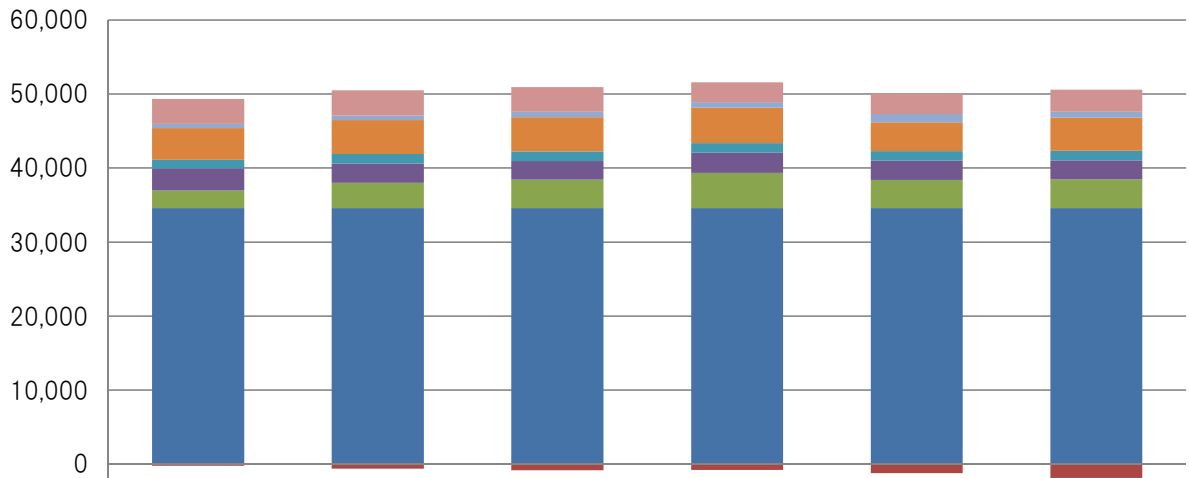


	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
流動資産	7,334	7,861	8,137	8,532	7,758	8,763
その他	109	595	582	705	741	744
図書	812	787	799	814	825	834
設備	5,878	6,033	6,006	6,350	5,413	4,901
建物	23,434	23,084	23,037	22,879	22,572	21,930
土地	11,544	11,544	11,544	11,544	11,544	11,544

(単位：百万円)

区分	26年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	15.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金、有価証券（1年以内） ・未収附属病院収入 ・未収学生納付金収入 ・病院医薬品在庫 	1,005	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金増939 ・未収附属病院収入増165 ・未収入金減▲48 ・病院医薬品在庫増5
固定資産	図書等	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・特許権 ・有価証券（1年超） ・未収財源措置予定額 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・建設仮勘定減▲1 ・ソフトウェア減▲15 ・未収財源措置予定額26
		図書	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍 ・CD-ROM ・雑誌（製本済みのもの） 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・当期取得8 ・当期除籍0 ・蔵書数26年度末 222,564冊
	設備建物	設備	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、診療器具 ・車両運搬具 	▲ 512	<ul style="list-style-type: none"> ・当期取得1,155 【減価償却負担▲1,667】
		建物	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎、研究所 ・病院 ・宿舍、学生寮 ・ファミリーハウス 	▲ 642	<ul style="list-style-type: none"> ・当期取得489 【減価償却負担▲1,131】 ・施設の改修工事
	土地	土地	23.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の敷地 ・グラウンド 	0

負債・純資産



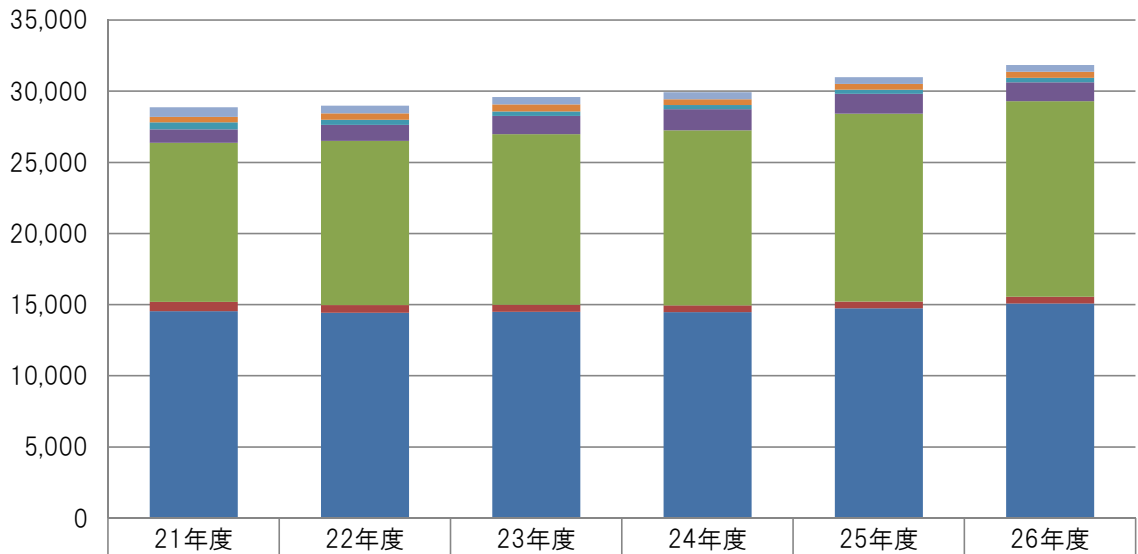
▲ 10,000

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
■ その他債務	3,401	3,441	3,302	2,691	2,756	2,999
■ 寄附金債務	546	619	733	746	1,124	776
■ 未払金	4,304	4,583	4,636	4,795	3,876	4,506
■ 借入金	1,170	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
■ 資産見返負債	2,953	2,592	2,539	2,718	2,618	2,563
■ 利益剰余金	2,397	3,408	3,833	4,768	3,802	3,884
■ 資本剰余金	▲ 246	▲ 624	▲ 822	▲ 777	▲ 1,209	▲ 1,897
■ 資本金	34,585	34,585	34,585	34,585	34,585	34,585

(単位：百万円)

区分	26年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他負債	その他債務	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	243	・リース債務減▲200 ・運営費交付金債務増260 ・長期寄附金債務増200
		寄附金債務	・繰越して使用予定の寄附金	▲ 348	・寄附金債務減▲348
		未払金	・平成27年4月支払いの経費	630	・施設費関係債務を例年どおりの支払時期に戻したことにより増
		借入金	・大学病院の借入金残高 (機器整備)	0	・昨年度と同
		資産見返負債	・建築設備取得に使用した交付金、授業料、寄附金の減価償却費を除いた残高	▲ 55	・道からの承継資産償却額▲36 ・補助金財源償却額▲75 ・寄附金財源の購入に伴う増54
純資産	利益剰余金	・目的積立金(26年度末分) ・繰越積立金(第1期分) ・未処分利益(当期総利益)	82	・当期総利益▲54 ・目的積立金136	
	資本剰余金	・施設費や目的積立金による固定資産の取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	▲ 688	・施設整備補助金財源取得541 ・繰越積立金財源取得69 ・当期損益外減価償却等▲1,299	
	資本金	・法人移行時に道から土地・建物等の現物で受けた出資金	0	・昨年度と同	

経常費用

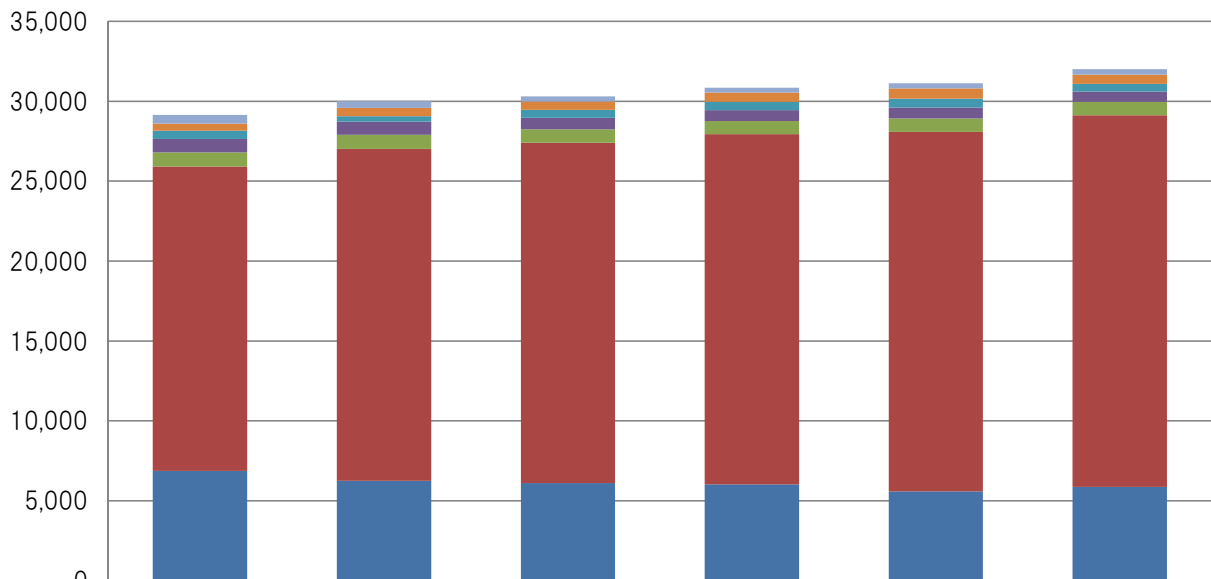


	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
■教育経費	692	537	520	488	463	477
■教育研究支援経費	383	456	485	417	412	431
■受託研究費等	477	364	305	284	296	316
■研究経費	951	1,133	1,300	1,483	1,398	1,333
■診療経費	11,191	11,520	11,973	12,306	13,204	13,751
■一般管理費等	636	542	499	471	461	464
■人件費	14,551	14,436	14,501	14,476	14,747	15,079

(単位：百万円)

区分	26年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.5%	・学生に対し行われる教育に要する経費	14	・施設修繕の増 ・光熱費増
	教育研究支援経費	1.3%	・附属総合情報センター（図書館含む）に要する経費	19	・図書整備費の増 ・光熱費増
研究	受託研究等	1.0%	・外部から委託を受けて行う受託研究 ・民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	20	・受入研究に係る費用増
	研究経費	4.5%	・研究に要する経費	▲ 65	・繰越積立金財源の費用減 ・補助金財源の費用減 ・光熱費増
診療	診療経費	42.6%	・大学病院における診療の実施に要する経費	547	・病院収益の増に伴う費用増 ・医薬材料費の増 ・光熱費増
管理運営	一般管理費等	1.5%	・管理運営に要する経費 ・財務費用	3	・光熱費増 ・各種経費の節減
	人件費	47.6%	・一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等（受託に係る人件費は含まない）	332	・給与改定等に伴う給与増 ・退職者減による退職手当の減

経常収益



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
■ 受託等	544	421	333	304	322	346
■ 寄附金	439	511	513	584	624	591
■ 補助金	525	356	511	515	569	473
■ その他	841	821	717	671	679	646
■ 学生納付金	889	866	846	838	840	834
■ 病院収益	19,029	20,775	21,285	21,903	22,493	23,251
■ 交付金	6,884	6,252	6,110	6,031	5,591	5,873

(単位：百万円)

区分	26年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.0%	・ 受託研究 ・ 受託事業 ・ 共同研究	24	・ 受託研究等の収益化額の増
	寄附金	2.0%	・ 奨学寄附金 ・ 寄附講座	▲ 33	・ 寄附講座の収益化額の減
	補助金	1.8%	・ 大学改革推進費 (GP) ・ 研究開発施設共用等促進費	▲ 96	・ 補助事業の終了に伴う収益化額減
その他	その他	2.2%	・ 研究関連収入 (間接経費) ・ 財産貸付料収入 ・ 資産見返負債戻入 ・ 受取利息	▲ 33	・ 施設費収益の減 ・ 資産見返負債戻入の減
学納金	学生納付金	2.7%	・ 授業料 ・ 入学料 ・ 検定料	▲ 6	・ 研究生数の減
診療	病院収益	72.3%	・ 附属病院収入 (外来・入院)	758	・ 入院診療収益増585 ・ 外来診療収益増169
交付金	運営費交付金	18.0%	・ 運営費交付金収入	282	・ 給与改定等の措置額増に伴う収益化額の増

利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
経常収益	29,151	30,002	30,316	30,846	31,118	32,014
経常費用	27,706	28,988	29,583	29,926	30,993	31,860
経常利益	271	1,013	732	920	126	154
臨時損益	▲ 9	0	▲ 2	618	1	▲ 3
目的積立金取崩	0	16	125	159	81	2
当期総利益	262	1,029	856	1,697	208	153

当期総利益の内訳

(単位：百万円)

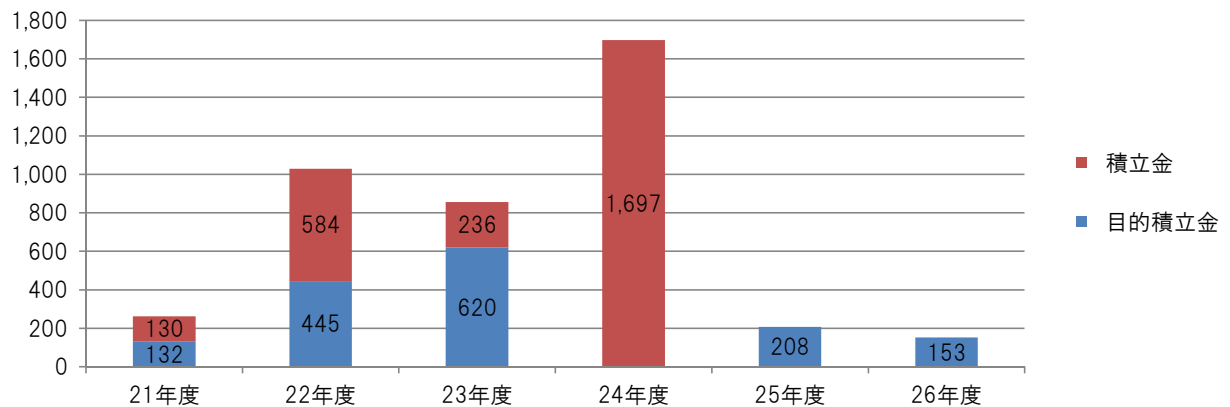
区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
目的積立金	132	445	620	-	208	153
積立金	130	584	236	1,697	-	-

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

なお、平成24年度は中期目標期間最終年度のため会計基準に基づき、全額を積立金として整理し、平成25年度以降は全額を目的積立金として承認されています。

利益処分の推移



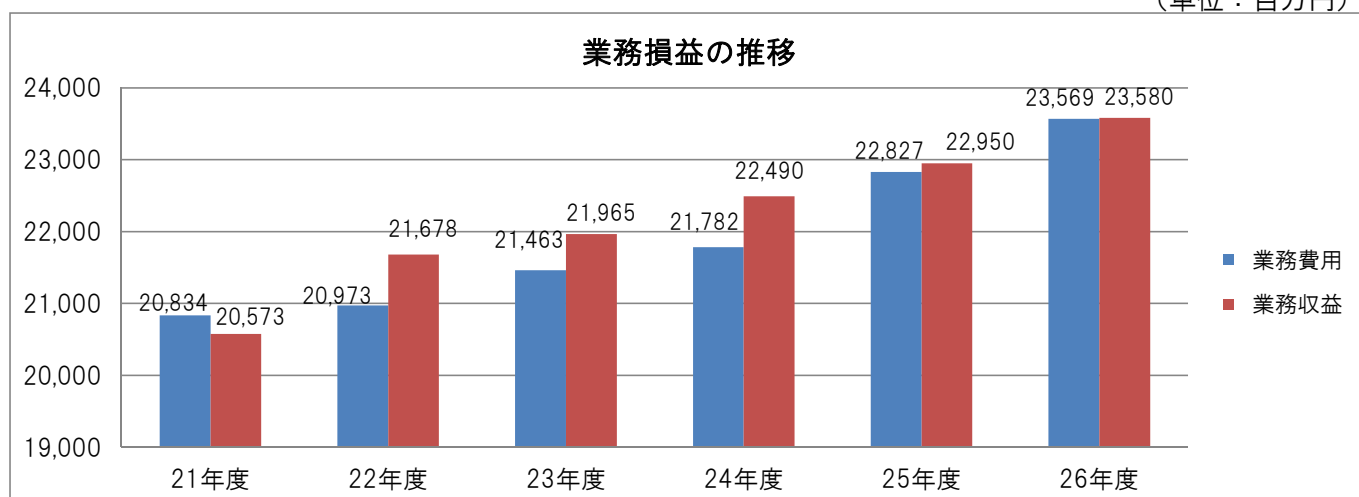
26年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 153百万円	目的積立金 153百万円	(主な発生要因) ・ 附属病院診療収入の増加に伴う収益の増 ・ 人件費の節減 ・ 外部資金の獲得による財源の振り替え ・ 各種経費の節減
	積立金 —	—

附属病院業務損益の推移

(単位：百万円)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
業務費用	20,834	20,973	21,463	21,782	22,827	23,569
業務収益	20,573	21,678	21,965	22,490	22,950	23,580
業務損益	▲ 261	705	502	708	123	11

(単位：百万円)



【業務費用】

(単位：百万円)

26年度		業務費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	74	・教育経費、研究経費、 受託研究費、受託事業費 ・財務費用	▲ 7	・受託費用の減
	0.4%			
人件費	9,743	・臨床系教員 ・医員、研修医 ・看護師、技師、事務職員	200	・給与改定に伴う支給額の増 ・看護師等人員増に伴う増
	41.8%			
診療経費	13,751	・診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	547	・医薬材料費の増 ・各種委託経費の増 ・水道光熱費の増
	57.8%			

【業務収益】

(単位：百万円)

26年度		業務収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	329	・受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・資産見返負債戻入等	▲ 128	・補助金収益の減 ・施設費収益の減
	2.0%			
病院運営 費交付金 収益	0	・附属病院に係る交付金	0	・退職見込み者減による収益の減
	0.0%			
病院収益	23,251	・外来収益 ・入院収益 ・文書料	758	・入院診療収益増585 (入院患者数：290,482人) ・外来診療収益増169 (外来患者数：479,797人)
	98.0%			

キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外）の取引に係る収入と支出の差額	1,727	2,075	2,371	1,366	1,965	2,005
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、授業料、受託研究等、寄附金	29,076	29,518	30,130	30,973	31,641	31,892
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・サービス購入による支出	▲ 27,349	▲ 27,443	▲ 27,759	▲ 29,607	▲ 29,676	▲ 29,887
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入と支出の差額	▲ 582	▲ 449	▲ 1,567	▲ 796	▲ 2,166	▲ 329
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 686	▲ 561	▲ 1,569	▲ 604	▲ 2,164	▲ 380
	(収入) 施設費による収入、資産売却による収入	522	1,014	529	467	519	547
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 1,208	▲ 1,575	▲ 2,098	▲ 1,071	▲ 2,683	▲ 927
	投資資産の取得及び売却の取引	104	111	2	▲ 193	▲ 2	51
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	2,404	111	2	1,998	2,094	3,001
(支出) 定期預金・有価証券の取得	▲ 2,300	0	0	▲ 2,191	▲ 2,096	▲ 2,950	
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と支出の差額	▲ 210	▲ 385	▲ 600	▲ 725	▲ 705	▲ 737
	(収入) 長期借入による収入	520	520	520	520	520	520
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、ファイナンスリース債務の返済	▲ 730	▲ 905	▲ 1,120	▲ 1,245	▲ 1,225	▲ 1,257
④資金増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元現金・当座預金・普通預金）増減額	935	1,241	204	▲ 155	▲ 906	939
⑤資金期首残高	前期末現預金残高	1,394	2,329	3,570	3,774	3,619	2,713
⑥資金期末残高	当期末現預金残高	2,329	3,570	3,774	3,619	2,713	3,652

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

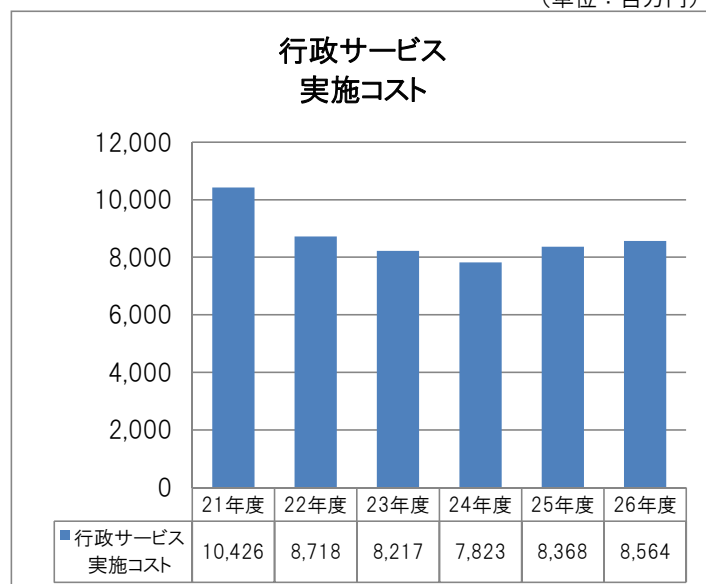
○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

業務実施コストの推移

(単位：百万円)

	表示区分	説明	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	国や地方公共団体から市場価格よりも廉価で賃借している土地等（職員宿舎、課外活動敷地など）について、市場価格で賃借したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	16	16	16	16	14	112
	地方公共団体出資の機会費用等	出資金、地方公共団体から拠出された資本剰余金等について、その金額を市場で運用したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	478	429	332	186	210	129
損益外減価償却等	・損益外減価償却相当額 ・損益外減損損失相当額等	施設費等で取得した建物に係る減価償却費等は、損益計算書に費用として反映させていないが、最終的には住民等の負担となるため、業務運営費用と認識する。	831	894	994	1,038	1,150	1,324
	・引当外賞与増加見積額 ・引当外退職給付増加見積額	運営費交付金を財源とする教職員に係る賞与と退職金は、損益計算書に費用（引当金）として反映させないが、最終的には住民等の負担となるため業務運営費用と認識する。	1,254	1,135	485	504	508	359
業務費用	損益計算書上の費用	経常費用と臨時損失の合計	28,889	28,989	29,585	29,928	31,000	31,863
	(控除)自己収入等	自己収入（授業料、病院収益等） ※住民等の負担ではないので控除する。	▲ 21,042	▲ 22,744	▲ 23,196	▲ 23,849	▲ 24,513	▲ 25,223
行政サービス実施コスト			10,426	8,718	8,217	7,823	8,368	8,564

(単位：百万円)



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である住民等から、財産（税金・土地・建物等）を負託されています。

○このため、「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に住民等の負担となるコストを示しています。民間企業にはない財務諸表です。

○通常、コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに、制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や、国・地方公共団体が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減（前年比較）	評価
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	129.9 %	123.5 %	122.8 %	131.8 %	120.0 %	125.5 %	5.5 %	高い値が良い ↑
	流動資産	7,333 百万円	7,861 百万円	8,137 百万円	8,532 百万円	7,758 百万円	8,763 百万円	1,005 百万円	
	流動負債	5,643 百万円	6,367 百万円	6,627 百万円	6,471 百万円	6,465 百万円	6,984 百万円	519 百万円	
自己資本比率 【貸借対照表】	資本（純資産）÷（負債＋資本（純資産））	74.8 %	74.9 %	75.0 %	75.9 %	76.1 %	75.1 %	▲1.0 %	高い値が良い ↓
	資本（純資産）	36,736 百万円	37,369 百万円	37,597 百万円	38,575 百万円	37,179 百万円	36,572 百万円	▲607 百万円	
	負債	12,374 百万円	12,535 百万円	12,509 百万円	12,249 百万円	11,673 百万円	12,144 百万円	471 百万円	
	負債＋資本（純資産）	49,110 百万円	49,909 百万円	50,105 百万円	50,825 百万円	48,852 百万円	48,716 百万円	▲136 百万円	
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	0.9 %	3.4 %	2.4 %	3.0 %	0.4 %	0.5 %	0.1 %	高い値が良い ↑
	経常利益	270 百万円	1,013 百万円	733 百万円	920 百万円	126 百万円	154 百万円	28 百万円	
	経常収益	29,151 百万円	30,002 百万円	30,316 百万円	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	896 百万円	
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	51.5 %	50.7 %	49.9 %	49.1 %	48.3 %	48.0 %	▲0.3 %	低い値が良い ↓
	人件費	14,551 百万円	14,436 百万円	14,501 百万円	14,476 百万円	14,747 百万円	15,079 百万円	332 百万円	
	業務費	28,244 百万円	28,446 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	866 百万円	
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	2.2 %	1.8 %	1.7 %	1.6 %	1.5 %	1.5 %	0.0 %	低い値が良い -
	一般管理費	625 百万円	529 百万円	484 百万円	457 百万円	461 百万円	464 百万円	3 百万円	
	業務費	28,244 百万円	28,988 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	866 百万円	
外部資金比率 【損益計算書】	（受託研究等収益＋受託事業等収益＋寄附金収益）÷経常収益	3.4 %	3.1 %	2.8 %	2.9 %	3.0 %	2.9 %	▲0.1 %	高い値が良い ↓
	①受託研究収益＋受託事業収益	544 百万円	421 百万円	333 百万円	304 百万円	322 百万円	346 百万円	24 百万円	
	②寄附金収益	439 百万円	511 百万円	513 百万円	584 百万円	624 百万円	591 百万円	▲33 百万円	
	経常収益	29,151 百万円	30,002 百万円	30,316 百万円	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	896 百万円	
外部資金比率 （科学研究費補助金を含む） 【損益計算書】 【附属明細書】	（受託研究等収益＋受託事業等収益＋寄附金収益＋科学研究費補助金）÷経常収益	5.4 %	4.8 %	4.6 %	4.7 %	4.8 %	4.8 %	0.0 %	高い値が良い -
	上記 ①＋②	983 百万円	932 百万円	846 百万円	888 百万円	946 百万円	937 百万円	▲9 百万円	
	科学研究費補助金	605 百万円	519 百万円	549 百万円	554 百万円	554 百万円	596 百万円	42 百万円	
	経常収益	29,151 百万円	30,002 百万円	30,316 百万円	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	896 百万円	
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	58.8 %	55.5 %	56.3 %	56.2 %	58.7 %	59.1 %	0.4 %	低い値が良い ↑
	診療経費	11,191 百万円	11,520 百万円	11,973 百万円	12,306 百万円	13,204 百万円	13,751 百万円	547 百万円	
	附属病院収益	19,029 百万円	20,775 百万円	21,285 百万円	21,903 百万円	22,493 百万円	23,251 百万円	758 百万円	
1病床あたりの附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	20.3 百万円	22.1 百万円	22.7 百万円	23.4 百万円	24.0 百万円	24.8 百万円	0.8 百万円	高い値が良い ↑
	附属病院収益	19,029 百万円	20,775 百万円	21,285 百万円	21,903 百万円	22,493 百万円	23,251 百万円	758 百万円	
	病床数	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	0 床	
学生1人あたりの教育経費 【損益計算書】 【事業報告書】	教育経費÷学生数	551 千円	419 千円	402 千円	370 千円	349 千円	354 千円	5 千円	高い値が良い ↑
	教育経費	691 百万円	537 百万円	520 百万円	488 百万円	463 百万円	477 百万円	14 百万円	
	学生数	1,255 人	1,283 人	1,293 人	1,320 人	1,328 人	1,347 人	19 人	
教員1人あたりの研究費 【損益計算書】 【事業報告書】	研究経費÷教員数	2,512 千円	3,005 千円	3,448 千円	3,862 千円	3,641 千円	3,409 千円	▲231 千円	高い値が良い ↓
	研究経費	952 百万円	1,133 百万円	1,300 百万円	1,483 百万円	1,398 百万円	1,333 百万円	▲65 百万円	
	教員数	379 人	377 人	377 人	384 人	384 人	391 人	7 人	
教育経費対業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	2.4 %	1.9 %	1.8 %	1.7 %	1.5 %	1.5 %	0.0 %	高い値が良い -
	教育経費	691 百万円	537 百万円	520 百万円	488 百万円	463 百万円	477 百万円	14 百万円	
	業務費	28,244 百万円	28,446 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	866 百万円	
研究経費対業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	3.4 %	4.0 %	4.5 %	5.0 %	4.6 %	4.2 %	▲0.4 %	高い値が良い ↓
	研究経費	952 百万円	1,133 百万円	1,300 百万円	1,483 百万円	1,398 百万円	1,333 百万円	▲65 百万円	
	業務費	28,244 百万円	28,446 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	866 百万円	

（※）財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

資料編

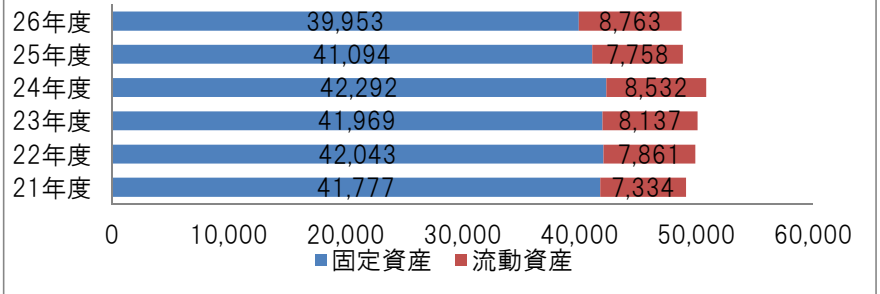
○貸借対照表

資産の部

48,716 百万円

対前年度

▲ 136 百万円減少



資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

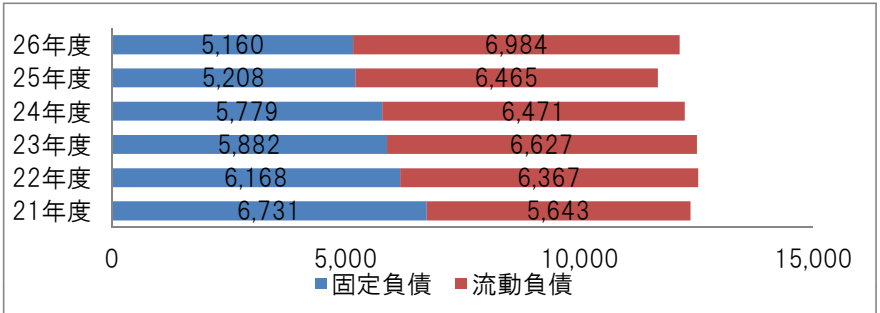
計画的な施設整備・維持・充実を図っており、平成26年度については、空調機等の更新工事、外壁改修工事、また教育・研究・診療の機械備品等の新規購入や更新した一方で、減価償却費等の負担が増加したことにより資産が減少しています。

負債の部

12,144 百万円

対前年度

▲ 471 百万円増加



負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。

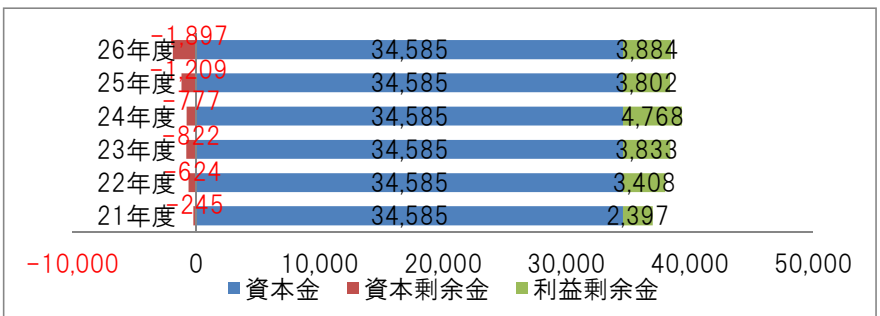
平成26年度は、リース債務返済により固定負債が減少した一方で、業者等へ支払う未払金の増加により、流動負債が増加しています。

純資産の部

36,572 百万円

対前年度

▲ 606 百万円増加



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

平成26年度は利益を1億円確保し、利益剰余金が増加した一方で、損益外減価償却費等の増により資本剰余金が減少しております。

資 産

土地	11,544 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	21,930 百万円	対前年度	▲ 6 4 2 百万円
建設仮勘定	1 百万円	対前年度	▲ 1 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。平成26年度は、長期保全計画に基づく空調機更新工事や電力設備更新工事を行うなど、施設の整備・維持・充実に努めました。

工具器具備品	4,901 百万円	対前年度	▲ 512 百万円
図書・美術品	834 百万円	対前年度	8 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新している一方で、購入を上回る減価償却費の負担が発生している状況となっています。

図書・美術品については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	3,652 百万円	対前年度	939 百万円
-------	-----------	------	---------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。

未収入金	4,542 百万円	対前年度	116 百万円
未収学生納付金収入	0 百万円	対前年度	▲ 1 百万円
未収附属病院収入	4,459 百万円	対前年度	165 百万円
その他未収金	83 百万円	対前年度	▲ 48 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。

平成26年度末においては、附属病院収益が増加したことにより、未収附属病院収入が165百万円増加し、また補助金等の未収入金が減少したことにより、その他未収金が48百万円減少しています。

負 債

資産見返負債	2,563 百万円	対前年度	▲ 55 百万円
--------	-----------	------	----------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

借入金（固定負債）	1,300 百万円	対前年度	0 百万円
借入金（流動負債）	520 百万円	対前年度	0 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度520百万円の借り入れを行っています（1年据え置き4年間での償還）。
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	697 百万円	対前年度	259 百万円
----------	---------	------	---------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用については、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。

寄附金債務	776 百万円	対前年度	▲ 348 百万円
-------	---------	------	-----------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	4,506 百万円	対前年度	630 百万円
-----	-----------	------	---------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。

純 資 産

資本金	34,585 百万円	対前年度	0 百万円
-----	------------	------	-------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 1,897 百万円	対前年度	▲ 688 百万円
-------	-------------	------	-----------

非償却資産の取得、施設費や目的積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	3,884 百万円	対前年度	82 百万円
-------	-----------	------	--------

業務に関連して発生した剰余金を示します。平成26年度は、当期の未処分利益153百万円を獲得し、目的積立金を71百万円取崩しております。

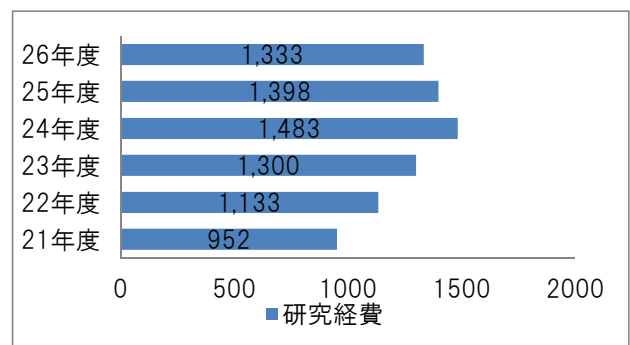
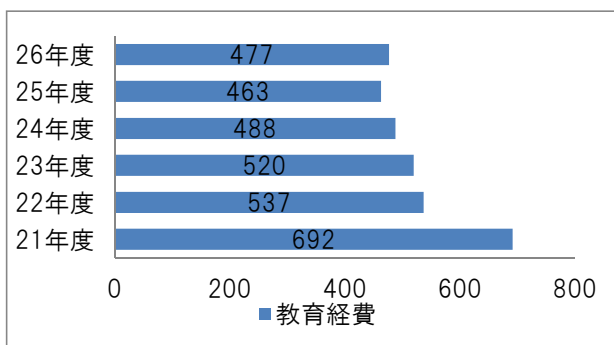
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
477 百万円 対前年度 14百万円	1,333 百万円 対前年度 ▲ 65百万円

・入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学金（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

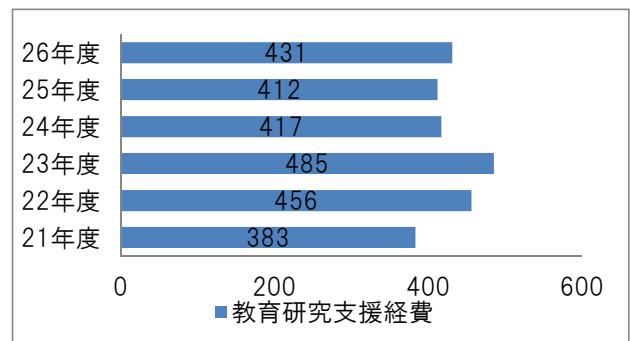
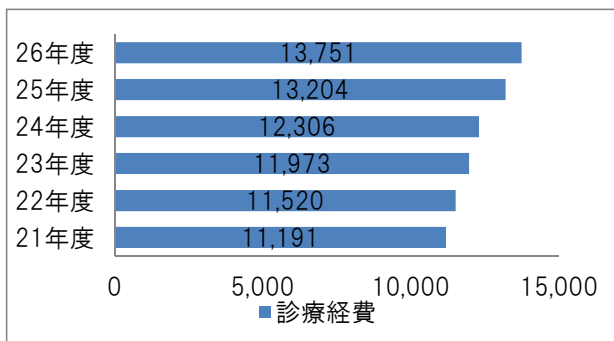
・各学部や研究所等における研究に要する経費です。
・平成26年度は、繰越積立金財源を活用した備品購入をしなかったため減少しています。



診療経費	教育研究支援経費
13,751 百万円 対前年度 547百万円	431 百万円 対前年度 19百万円

・附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。診療活動の活発化による収益増に伴い、経費が増加する傾向があります。
・平成26年度は、医薬材料費や各種委託経費が増加しています。

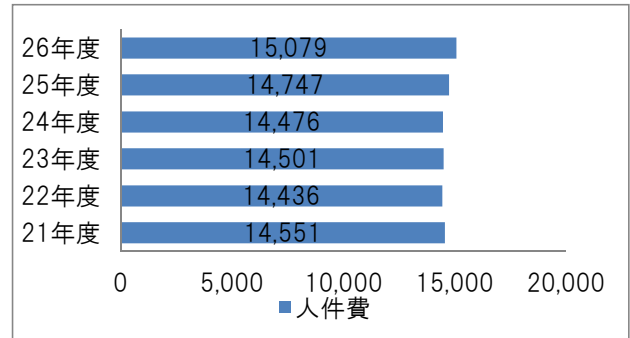
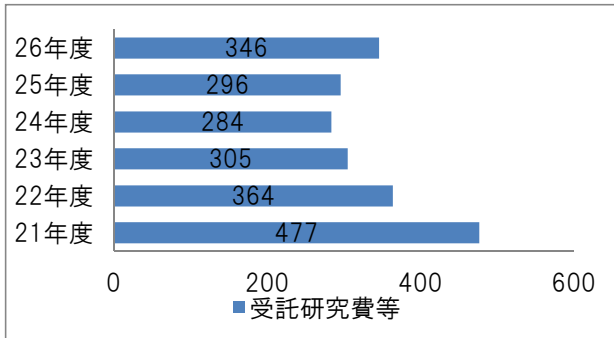
・附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得については、資産の部の図書に含まれています。



受託研究費等	人件費
346 百万円 対前年度 50百万円	15,079 百万円 対前年度 332百万円

- ・ 受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。
- ・ 積極的に産学官の連携協力に取り組んでおり、平成26年度については、受託事業費が前年度より増加しています。

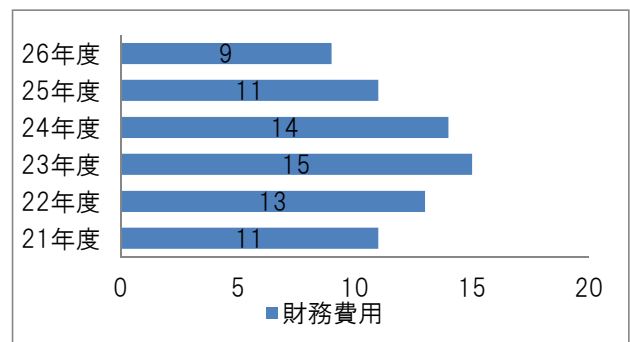
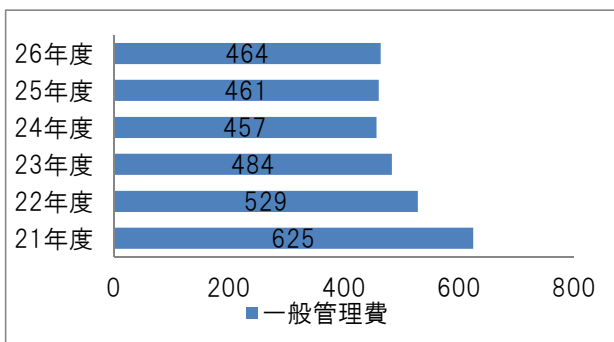
- ・ 役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。
- ・ 平成26年度は、給与改定に伴う支給額増や病院セグメントで雇用した人員増により増加しております。



一般管理費	財務費用
464 百万円 対前年度 3百万円	9 百万円 対前年度 ▲2百万円

- ・ 大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。
- ・ 平成26年度は、各種経費の節減等に努めた一方で、光熱費高騰や消費税増税などにより前年度より増加しています。

- ・ 道からの借入金に係る利息の支払いです。
- ・ 平均利率下落 (0.69%→0.58%) により減少しております。

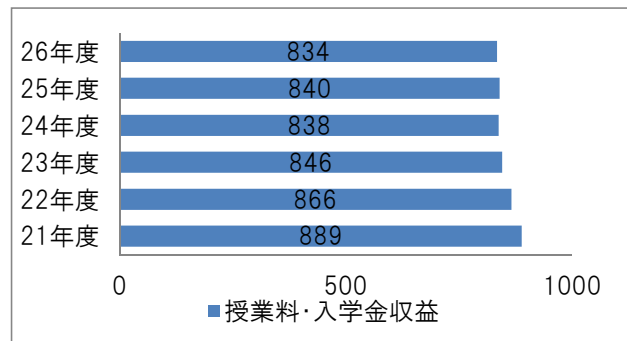
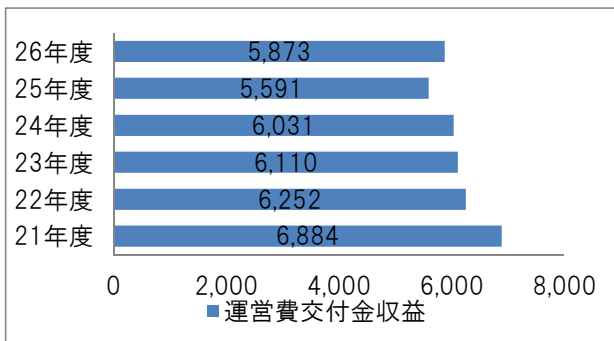


経常収益

運営費交付金収益	授業料・入学金収益
5,873 百万円 対前年度 282百万円	834 百万円 対前年度 ▲6百万円

- ・大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。効率化係数などの影響により、毎年減少傾向にあります。
- ・平成26年度は、給与改定や光熱費高騰の影響額を追加措置されたため、増加しております。

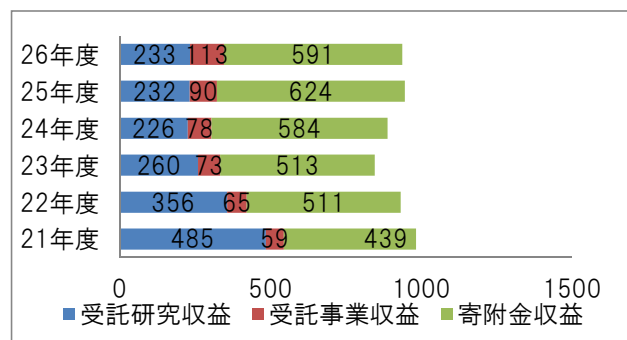
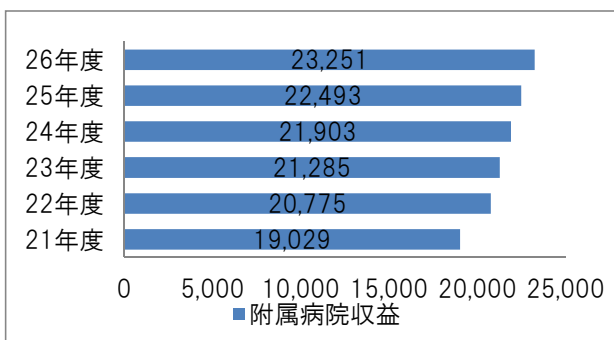
- ・授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。
- ・平成26年度は、学部学生分が、前年度より増加しましたが、研究生等分が減少したため、ほぼ前年度と同水準となります。



附属病院収益	受託研究・寄附金収益
23,251 百万円 対前年度 758百万円	937 百万円 対前年度 ▲9百万円

- ・病院における診療による収益です。
- ・平成26年度は、前年と比較して患者単価や患者数が増加したことに伴い診療収益が増加しています。

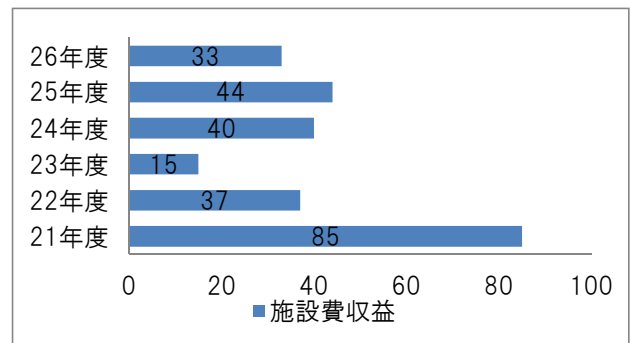
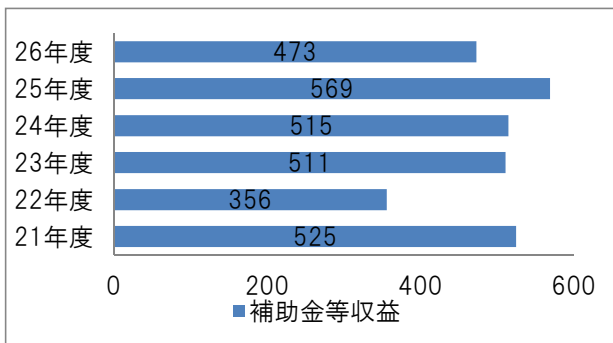
- ・受託研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。
- ・平成26年度は、受託事業が増加した一方で、寄附金については減少しています。



補助金等収益	施設費収益
473 百万円 対前年度 ▲96百万円	33 百万円 対前年度 ▲11百万円

- ・国等から交付された大学改革推進等補助金（GP）等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・平成26年度は、道央圏地域医療再生計画補助金事業が終了したことにより収益化額が減少しております。

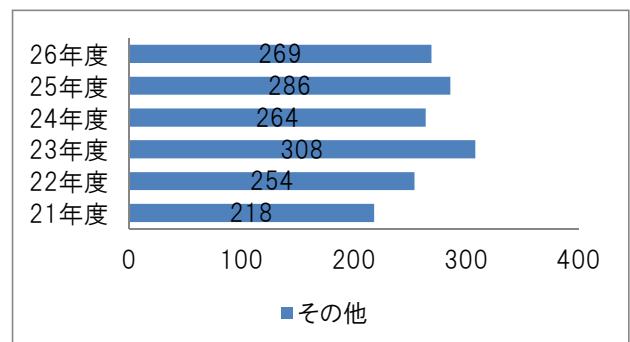
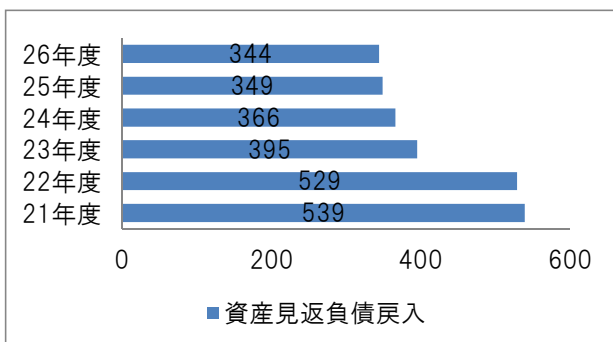
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。



資産見返負債戻入	その他
344 百万円 対前年度 ▲5百万円	269 百万円 対前年度 ▲17百万円

- ・固定資産取得の際、負債に計上した取得財源毎の資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行財政法人会計の特徴的な科目です。
- ・平成19年度の法人化当初、北海道より譲与された備品等の見返負債額が減少しています。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



財務報告書 2015

平成27年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室